

Forest 通信

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.319

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**



「一寸来い！」

コジュケイ (キジ科)

今から約100年前に、中国大陸から狩猟鳥として東京、神奈川に放鳥されたコジュケイ(小綬鶏・27cm)は、今や本州以南の温暖な地方に定着しており、外来種で日本の自然環境に適応した鳥です。

竹藪やボサに生息し姿を見る事は稀で、春先から夏にかけて、「チョットコイ(一寸来い)」と聞きなしされる独特の鳴き声で、その存在を知る事ができます。時には木魚を叩いているようなおもしろい鳴き方もします。

今月の一句

「一寸来い呼ばれて行ったら又来いよ」

(フォレストサポートスタッフ

大作 栄一郎)

二美ちゃん 富ちゃんの

Vol.4



～ブナ～

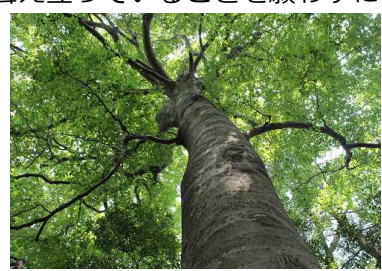
大菩薩嶺で一本のブナに出会った。樹齢250年位、胸の高さで直径1.3m、幹には深い皺が刻み込まれ、永い間風雪に耐えてきたものの威厳というか力強さにあふれていた。この木の元に佇んでいると40数年前の記憶が蘇ってきた。

私が勤務していたある県の奥地には天然林が残されて、ブナを始めとした大木が天を突くように立っていた。当時は木材生産が盛んで、天然林から人工林への変換を推し進めていた時代。山には多くの男達が働き活気にあふれていた。大木が大型チェーンソーで伐倒され、材が架線により空中を高く舞い、貯木場には大量のツガやブナが積まれていた。材の木口には樹種名、材長、太さ、

品等が書き込まれ、商品として大事に扱われていた。懐かしい思い出である。

高尾山にもブナはあり、70数本が生えているとのこと。普通この周辺でブナは1000m以上で生育し、600mに満たない高尾山のブナは貴重な存在である。樹齢は250～300年位で、江戸時代の小氷期に発芽し、その後の気温上昇と冬季の乾燥により跡継ぎが育たず、やがて消滅するものといわれている。この貴重な高尾山のブナ、いつまでも聳え立っていることを願わずに

(二美)



高尾山の美人ブナ



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています

自然観察会（Ⅱ） 実施報告

実施日
H27.7.19（日）

特定非営利活動法人 森と人のネットワーク
「プロ・ナチュラリスト佐々木洋さんと行く
夏の高尾自然観察」
（写真・文提供 特定非営利活動法人
森と人のネットワーク 副理事長 泉 和弘氏）

心配していた台風11号の進路は西にそれてくれたのでイベント日和になりましたが、前日までの雨の影響で沢の水量が増加したため、対岸に渡っての観察路を散策するルートは中止し、日影林道中心の観察会ルートに変更して観察会を開催しました。今回は定員を超える46名の参加がありました。

日影林道入口でのオープニングでは、①アサギマダラ②ムササビ③テングチョウの3つの班に分け、リーダー、サブリーダーを紹介し観察会を開始しました。



午前中は林道入口～日影沢キャンプ場までの林道約500mを約1時間かけての自然観察です。林道を歩いていると、ピンクの花をつけた野草を発見。名前は「ハグロソウ」。花びらは2枚で上下に開いて上唇と下唇のようにも見えます。花びらに斑点がついているのが「お歯黒」のようだから、「ハグロソウ」と呼ぶとも言われますが、葉が他の葉よりも濃い色（暗い）をしているから、「葉黒草」と名が付いたのが本当のようです。実際に他の葉と比べてみても、他の野草も濃い緑をしているので特別に黒いとは思えないですね。

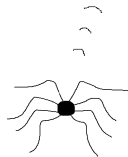


ドクツルタケ



ハグロソウ

野草のそばには、足の長いクモのような「ザトウムシ」がいました。前足を触角のようにして前方を探っている様子が、座頭市が杖をついて歩くのに似ているのでザトウムシと呼ばれています。クモのような形ですが、クモのように頭と胴の間のクビレは無く、一体化していて分類上もクモ綱ザトウムシ目に分類され、クモ目とは別になっています。宮崎駿のアニメ「千と千尋の神隠し」に出てくる「釜爺」はザトウムシをモデルとしたそうです。



キャンプ場に到着し昼食後、午後のテーマは昆虫採集です。参加者に容器と小さな補虫用の網を配って林道沿いを約1時間かけて昆虫採集し、班ごとに集めた昆虫の名前を調べました。集めた昆虫の中から各班でベスト3を選出し、リーダーが説明を加え発表をしました。



各ベスト3の発表の後には、それぞれの班で見つけた昆虫でミニ昆虫展を開き、参加者全員で観察をしました。

○当日観察した生きものたち（抜粋）
ミスジマイマイ、オオケマイマイ、サワガニ、キマフリ、スミナガシ、ヒシバツタ、フキバツタ、ノコギリカミキリ、ラミーカミキリ、ナガゴマフカミキリ、ナミテントウ、ホソハリカメムシ、マルカメムシ、カメムシタケ、アオバセセリ、モンキアゲハ、ヨコツメアオシャク



クラフト体験室 山の日制定記念教室



高尾森林ふれあい推進センターでは、8.11山の日制定を記念し、「夏休み特別企画・期間限定クラフト教室」を開催しました。8月10日～16日までの1週間、小学生以下の児童を対象として日替わりで作るクラフト作品を紹介したところ、8月11日にオープンしたお隣の、「TAKAO599 MUSEUM」の来場効果もあり、連日家族連れで満員御礼・大好評を博しました。

夏休み満喫中の子どもたちは、指導にあたったインタプリターに木の实の名前や工作のコツを教えてもらいながら、楽しそうに工夫して自分だけの作品を作り上げていました。

高尾森林ふれあい推進センター・クラフト体験室では、これからも季節に合わせた期間限定クラフト教室を企画しています。子ども対象だけではなく、大人限定のクラフト教室の開催も予定しておりますので、センターのホームページなどをチェックしてみてください。(ま)



中学生の 職場体験

江東区立
深川第八中学校

「アオダイショウ館長が職場体験をお出迎え」

江東区立深川第八中2年の生徒3名（引率の先生2名）が8月28日、当センターを訪れ大平国有林の「学習の歩道」の整備や二ホンジカ等の野生動物生息状況調査でセンサーカメラの巡視を体験しました。同校では、職場体験を通し、仕事の厳しさや喜びについて学び、進路選択及び自己実現の一助とするもので、「東京事務所と当センター」を組合せて毎年訪れています。

生徒らは、普段とはまったく環境の違う森林内に入り、ヘルメットに防蜂網などの保護具を完全着用。午前が歩道の刈払いで慣れない下刈鎌に悪戦苦闘しながらも無事に目標地点まで到着し、折返しは唐鍬での不陸直しに汗を流しました。

午後は林道沿い等に6箇所設置しているセンサーカメラが正常に作動しているかを点検し、SDカードと電池交換。二ホンジカが写っていないか真剣に確認していました。

館長



生徒の感想では、「朝の片道2時間の電車で疲れてしまいましたが、山に入ってから元気が出ました」「森林ふれあい館で、館長のアオダイショウ（体長約2㍓）に出迎えられビックリしました」「これからの進路選択にすごくためになり、貴重な体験ができました」などと、普段味わえない体験となったようです。

一日の体験を無事に終え、帰宅する生徒らをアオダイショウ館長にお見送りいただきました。お疲れ様でした。

(か)

刈払い
体験



センサー
カメラの
点検



NEW! information 参加者募集中!

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

秋の高尾山親子自然観察会



高尾の森で、小さな秋を探しながら自然と友達になろう!

- 日時** 平成27年10月24日(土)
- 集合** 高尾森林ふれあい推進センター前 8:30
- 解散** ケーブル高尾山駅付近 14:45頃
- コース** センター(開会式)~稲荷山コース~高尾山山頂~モミジ台(昼食)~4号路(つり橋経由)~ケーブル高尾山駅付近(解散)
- 実施** 森林インストラクター東京会
- 募集人員** 小学生以上の子どもとその家族50名
(未就学児の参加はご遠慮ください。応募者多数の場合は抽選)
- 参加費** 1人500円(交通費等は個人負担)
- 持ち物** リュックサック、昼食、飲物、敷物、雨具、帽子、保険証(写)、活動しやすい服装、歩きやすい運動靴、着替え、防寒具、タオル手袋、筆記用具
- 備考** 雨天中止(小雨決行)

【申込方法】往復ハガキ・Eメールのいずれか

①「秋の高尾山親子自然観察会」参加希望②郵便番号・住所③Emailアドレス④参加者氏名(ふりがな・年齢・学年・性別)⑤電話番号(中止時などの緊急連絡用)⑥このイベントを何で知ったかを記入し、お申込ください。

○申込先:高尾森林ふれあい推進センター「秋の高尾山親子自然観察会」申込係

Email: fitoyako27@gmail.com

郵送: 〒193-0844 八王子市高尾町2438-1

★申込〆切 平成27年10月10日(土) 必着



編集後記

ベランダでじっくり返ったセミの亡きから6匹を目をつぶって片付けた後、ふと頭上をあおぐとアシダカグモの巨大な巣(セミ付き)を発見。心臓がキュッとなった夏の終わり。(ま)

Forest通信 H27.9.1.No.319 **4**

NEW! information 参加者募集中!

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

ハイキングと植物観察教室



植物観察しながらハイキング。火起しに挑戦したり、竹とんぼや草笛で遊ぼう!

- 日時** 平成27年11月1日(日)
- 集合** JR高尾駅北口 8:20
- 解散** 日影沢キャンプ場前 15:30頃
- 実施場所** 日影沢キャンプ場
- 実施** 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部
- 募集人員** 小学生とその家族30名
(未就学児の参加はご遠慮ください。応募者多数の場合は抽選)
- 参加費** 小学生500円、大人1,000円/人
- 備考** ご応募いただきましたら、募集締切後に資料をお送りします。資料をご覧いただき、参加費振込後に参加が決定します。雨天の場合中止になることがあります。

【申込方法】Eメール・FAX・郵送のいずれか

①イベント番号②参加者全員の氏名(ふりがな)、性別、年齢、学校名③代表者の方の住所、電話番号(携帯番号)、FAX、Emailアドレスを記入し、お申込ください。

○申込・お問合せ: 〒169-0075 新宿区高田馬場4-21-3-203 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

Email: moritodenen@live.jp

FAX: 03-5338-9692 TEL: 03-3366-1233

★申込〆切 平成27年10月2日(金) 必着

Forest通信 No.319

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html

